

施策パッケージ名	子どもの脆弱性を考慮したリスク管理体制構築による安全・安心な環境の実現
担当府省	環境省
施策パッケージの目標	10万組の親子を対象とした大規模かつ長期のコホート調査「子どもの健康と環境に関する調査」を2027年まで実施し、環境が子どもの健康に与える影響を明らかにすることにより、子どもの健康を守るためのリスク管理体制構築を通じて、次世代育成に係る健やかな環境の実現を図る。また、第4期科学技術基本計画で掲げられた、革新的な予防法、新しい早期診断法の開発等に貢献する。
予算要求額等の合計	平成24年度 56.76億円（平成23年度 46.4億円）
実施期間	平成22年度～平成39年度まで
<p>【全体講評】</p> <p>○「子どもの脆弱性を考慮したリスク管理体制構築による安全・安心な環境の実現」は厚生労働省、文部科学省及び国際機関（WHO）や海外の研究機関等との連携の下に行われるコホート調査である。化学物質の相互作用も含む小児への複合的な影響をコホート調査により見極め、その成果は関係省庁の施策（生活環境、食品等）に反映され、国民、とりわけ子供を生む若い女性の安全、安心に繋がるものであり、また、高齢者関連の医療問題でも重要となる成果が期待されている。</p> <p>○このように、単独施策ではあるものの、複数の省庁等の緊密な協力体制の下に実施されるものであって、かつ、出口も明確な大規模調査でもあり、その目的・目標、アプローチが適切に提案されていることから、重点施策パッケージとして、資源配分の重点化を行うべき対象と認められる。</p> <p>○なお、本施策パッケージの政策効果を最大化するためには、成果を政策に適切に反映させることができるよう、厚生労働省等との連携体制を構築すること。</p> <p>【目的・目標について】</p> <p>○子供の健康への化学物質の影響を全国的に行い、統計を基に解明をするという目的は分かり易く、目標が明確かつ妥当。</p> <p>○ロードマップ、施策計画、体制は分かり易い。</p> <p>○一方、項目の中には評価がなかなか難しいものもあり、現時点で実施法が適切かどうかの判断は困難なところもある。</p>	

【アプローチについて】

- 全国的に展開しているという点で評価される。
- ゲノムの扱いについての検討が必要である。

【実施体制について】

- 全国各地での幅広い調査が期待でき、適切な組織体制であるが、将来的にゲノム疫学が実施できるよう準備されたい。
- ODB は公開できるような体制、インフォームドコンセントを取ることが望ましい。